



加賀市長からのメッセージ 第024号 4月1日配信

まだ寒さが残りますが、桜のつぼみがほころび始め、風に春の香りを感じる季節です。

本日、令和7年度の幕が開け新たな一年が始まりました。庁舎では新規採用職員等の辞令交付式が執り行われ、新たな一歩を踏み出す節目の日となりました。新しく着任した新教育長からも辞令が交付され、加賀市の未来を担う体制が整いました。

どんな仕事にも優劣はないということを前提として、私は公務員という職は尊い仕事であると考えています。それは「世のため、人のため」を念頭に置き、日々の職務に真摯に向き合うだけでなく、有事の際には自らが身を挺して働く使命を担っているからです。市民の皆様の安心と暮らしを守ることは、決して容易なことではありません。その責務に誇りを持ち、全力で取り組む姿勢こそが、私たち公務員のあるべき姿だと信じています。

今日、自らこの職務を選び、新たな気持ちで歩みを進める職員の皆さんに心からエールを送ります。そして、私も含めて職員一同がスクラムを組み、互いに支え合いながら、市の課題解決に向けて力を尽くし、より良い加賀市を築いてまいります。本日は、その決意を新たにす大切な一日となりました。

春の訪れとともに、市民の皆様にとっても、新たな希望に満ちた一年となることを願っております。

(令和7年4月1日号)

加賀市長 宮元 陸